



9月

パストラル尼崎

No159, 2025 (R7) 年8月25日

〔編集・発行〕

パストラル尼崎

尼崎市潮江1丁目10-2

Tel. 06-6493-0521

Fax. 06-6493-0301

発行責任者: 竹田 憲之

◆9月の歳時記◆

「敬老の日」に寄せて」

9月15日は「敬老の日」ですが、パストラル尼崎の皆さまの日常に接し、この「老」の文字を使う事に違和感を覚える事が度々あります。誕生日に何うと、「自分でも〇〇歳なんてビックリしてるのよ」と、当のご本人が一番驚かされていたりするのですが、スタッフもデーターに印字されている年齢の数字を「え？」と何度も見返す事が一度や二度ではありません。

たとえば、直近の「夏祭り」では大勢の皆さまが、ホントに生き生きされ、これが高齢者施設の「夏祭り」と目を疑う程の賑わいを見せていました。勝負に挑む真剣な眼差しは光を放ち、負けても笑い飛ばす豪快さ。前年に研究されつくしたゲームでは優秀賞が続出するなど挑戦者の知性と勝負に対する本気度がいたる所で発揮されていました。抱えきれない程の戦利品を手にした頼もしい背中、決して高齢者のそれとはまったく違ったものでした。

また毎月開催している「シニア大学」においても、その受講者数は殆どが五〇名を超え、一つの施設での参加率の高さにどの講師も一様に驚き賞賛します。確かに単発の企画ではなく年間を通して行好事であるのにも関わらず、この数字を維持している知的好奇心の旺盛さは、稀有で大いに自慢できるものです。

日帰り旅行では、旅行社のゆったりコースとは違い、毎回の欲張り行程にも関わらず、帰りのバスのご入居者はという、ボロ雑巾状態の添乗スタッフに反し、信じられないほど元気いっぱい。その賑わいはパストラルに到着するまで続きます。帰りの僅かなトイレ休憩でもいつの間にかソフトクリームを手美味しそくに頬張るご入居者の姿に、「年齢の概念とは何？」と毎回スタッフは自問し、わが身の情けなさで沈んでしまいます。泣く以前、九十歳とは到底思えないとお洒落な女性が、「年齢は、勝手に市役所が決めるのよ。ハハハ」と豪快に笑っておられました。確かにそうかもしれませんが、



今年の夏祭り

詠ってます！「俳句同好会」

二月発足の「俳句同好会」は、講師の田中様（1408号）の下、会員が互いを助け合うなど温かい雰囲気の中、句会方式で毎月活動しています。何気ない日常が五七五の中で宝石のように輝きを放つ俳句。以下に田中様の紹介文と共に皆さんの自選の一句をご覧頂きたいと思います。

「見て下さい！この明るい内容と表現を。いずれも年齢を感じさせない明るい素晴らしい句だと思います。私たちは夫々の人生経験を踏まえ、まだ何かをやりたい、充実した生活を送りたい夢を持っています。何かをやりたいそれがわからない、そんな方に俳句はお勧めです。美しい自然の描写や記憶に残る懐かしい出来事、社会の良し悪しに自分の考えを示す事ができるのです。豊かな生きがいのある生涯を全うするため、運動と遊びと学びで健康百歳を心がけましょう！」

- ◎ かたつむり光る足跡そはいづこ 奥野みちこ
- ◎ 光跡のもつれて闇へ恋蛭 川本桂子
- ◎ いくさなき国に暮すや更衣 小林陽子
- ◎ 薔薇園で雀と私と青空と 平 正子
- ◎ 春風や郵便ポストに口ふたつ 高橋三千子
- ◎ ぎごちなきうぐいす大器晩成か 田中節夫
- ◎ 水飲めば遠慮知らずの汗となり 林 雍子
- ◎ 雛人形子らは目を見て話しかけ 馬殿禮子
- ◎ まどろみぬ午後のプランコゆらりゆら 矢野郁子
- ◎ 静けさが汗おとしけり奥座敷 山中史代
- ◎ 絵日傘や万博ゲートあと五分 横山時子

令和7年度

パストラルシニア大学

今年度も多彩な講師をお迎えし、充実した内容でお届けしています。講師陣からその受講姿勢を絶賛されている皆さま。今年度も是非ご参加下さい。

***毎回フロントにお申込み下さい。**

***当日は、学生証も忘れずに！**

第4回

甲子園の審判は見た “奇跡の試合”

・日時:9月26日(金)14時

講師

元、高校野球審判 木嶋 一黄 氏



熱戦を繰り広げた夏の甲子園からはやひと月。今回は全国高等学校野球選手権大会の審判として25年間、数々の名勝負をジャッジした木嶋氏から当時の感動体験をお聞かせします。